LT : Miranda-LT 取扱説明書
Viewer : Miranda 取扱説明書
(MirandaViewer 画面操作詳細編)

Miranda-LT 機能追加内容一覧（１／４）

No.	機能追加内容	説　明	取扱説明書該当項	対応バージョン
1	デバイスコメントインポートのGX Works2 対応	GX Works2 プロジェクト（ワークスペース形式。ラベル無し）からデバイスコメントをインポートする機能を追加しました。	LT 4.1.7	2.6.0.221
2	バックアップ時に表示設定を保存する機能を追加	バックアップ時に、表示設定も併せて保存する機能を追加しました。 トレンド表示の際、バックアップ時に保存した表示設定を使用できます。	Viewer 2.1.2(2) 2.2.12 4.3	
3	iQ-R シーケンサ対応	MELSEC iQ-R シーケンサの CPU に対応しました。	LT 1.3.3 4.1.6	
1	信号名称の検索機能を追加	信号の一覧表示画面（表示信号選択画面、収集信号選択画面、信号定義画面）に、信号名称で信号を検索する機能を追加しました。	Viewer 2.2.2(2)	2.5.0.205
2	値検索機能を追加	デバイス値の変化を条件にして、蓄積データを検索する機能を追加しました。	LT 6.3.1 Viewer 3.1.1 3.3.2	
1	指定時間内の蓄積データを CSV ファイルに保存する機能を追加	指定時間内の蓄積データを、一括で CSV ファイルに保存する機能を追加しました。 保存時は、グループ内の全信号の蓄積データを保存可能としました。	LT 9.1 12.2.8 Viewer 8.2	2.4.0.166
2	トレンドの表示期間を指定する機能を追加	ヒストリカルトレンドに、1 画面の表示期間を指定する機能を追加しました。表示期間は 30 分～14 日間から指定できます。	Viewer 3.2.6	
3	接続可能な CPU を追加（QnUDV、大容量 CPU、LCPU）	QnUDV、大容量 CPU（Q50、Q100）、LCPU との接続に対応しました。	LT 1.3.3 4.1.7	
4	収集可能な文字列点数の拡張	収集可能な文字列点数（STRING 型の点数）を、2 点から収集グループ内の最大点数に拡張しました。	－	
5	トレンドグラフへの STRING 型データ表示機能追加	STRING 型の収集データをトレンドグラフに表示する機能を追加しました。	－	
6	収集データを自動で CSV ファイルに保存する機能を追加	収集したデータを、自動で CSV ファイルに保存する機能を追加しました。	LT 4.1.4 4.1.8 9.1 Viewer 8.2.1	
7	1 グループ内の収集信号点数の制限を拡張	1 グループ内の点数制限を、最大 512 点に拡張しました。	LT 1.3.3	
1	収集グループ数拡張	収集グループ数を最大 4 グループから最大 64 グループに拡張しました。	LT 1.3.3 3.3.4 4.1.8	2.3.0.154

LT : Miranda-LT 取扱説明書
Viewer : Miranda 取扱説明書
(MirandaViewer 画面操作詳細編)

Miranda-LT 機能追加内容一覧（２／４）

No.	機能追加内容	説　明	取扱説明書該当項	対応バージョン
2	棒グラフ表示本数拡張	棒グラフの表示本数を、トレンド１画面あたり最大８本から最大32本に拡張しました。	LT 1.3.3 Viewer 2.1.6(1)	
1	Windows7 64bit 版対応	Windows7 64bit 版に対応しました。	LT 2.1	2.2.0.121
1	トレンドグラフへのアラーム・トリガのマーク表示	トレンドグラフに、アラームおよびトリガの発生箇所を示すマークを表示する機能を追加しました。	Viewer 2.1.11	2.2.0.117
2	アラーム発生時のブザー通知機能を追加	アラームまたはイベントが発生した際に、ブザー音（wavファイル）を再生する機能を追加しました。	LT 12.2.6 12.2.7 Viewer 4.1.5	
3	信号値の小数部桁数指定	FLOAT 型またはDOUBLE 型の信号値表示において、小数部の桁数を指定する機能を追加しました。	Viewer 2.2.1(3)(b)	
1	トレンド分析グラフ機能を追加	複数のヒストリカルトレンドに表示しているデータを、１枚のトレンドグラフ内に重ね合わせて表示する機能を追加しました。	LT 8.2 Viewer 7.1	2.1.0.99
2	MirandaAnalyzer のOffice2010 対応	MirandaAnalyzer が Office2010 に対応しました。	LT 2.1	
1	値変化前後の蓄積に対応	エッジトリガにおいて、開始条件成立前後（値変化前後）のデータを蓄積することが可能となりました。	LT 6.1.2	2.0.0.85
2	アラーム条件の追加（タイムアウト監視）	アラームの検出条件に、「タイムアウト監視」を追加しました。信号の値変化後、指定時間内に別の値変化が成立しない場合、タイムアウトとしてアラーム・イベントを発生することが可能となりました。	LT 7.1.1(1) 7.1.2(2)	
3	終了条件未成立時のタイムアウト検出	エッジトリガの開始条件成立後、指定時間内に終了条件が成立しない場合は、タイムアウトを検出し、蓄積を終了することが可能となりました。	LT 6.1.1 6.1.2	
4	トリガ条件へのアラーム指定	トリガ条件の開始条件や終了条件に、アラーム・イベントの発生を指定することが可能となりました。	LT 4.1.8	
5	棒グラフ表示機能を追加	トレンドグラフの赤カーソルが示す時刻の各信号の値を、棒グラフで表示する機能を追加しました。	Viewer 2.1.6 3.2.8	
6	パレート図表示機能を追加	指定期間内に発生したアラーム・イベントを集計し、発生回数が多いアラーム・イベントをパレート図に表示する機能を追加しました。	LT 8.2 Viewer 7.1	
7	ガントチャート表示機能を追加	指定期間内に発生した（または発生していた）アラーム・イベントを集計し、アラーム・イベントの発生から復帰までの期間をガントチャートに表示する機能を追加しました。	LT 8.2 Viewer 7.2	
8	マルチCPU 構成時２台目以降のCPU 接続	接続先指定画面で、マルチCPU の号機番号を選択可能とし、マルチCPU の２号機以降のCPU からデータ収集することを可能としました。	－	

LT : Miranda-LT 取扱説明書
Viewer : Miranda 取扱説明書
(MirandaViewer 画面操作詳細編)

Miranda-LT 機能追加内容一覧 (3／4)

No.	機能追加内容	説　明	取扱説明書 該当項	対応 バージョン
9	アラームレベルへの「イベント」の追加	アラームレベルに「イベント」を追加しました。発生～復帰までの期間ではなく、ある事象が発生した（条件に合致した）時刻のみを検出することが可能となりました。	LT 7.1.2(2)	
1	画面イメージのコピー機能を追加	MirandaViewer の画面イメージをクリップボードにコピーする機能を追加しました。 [編集]メニュー―[画面コピー]選択により実行可能です。	―	1.7.0.76
2	対応 CPU ユニットの追加	以下の CPU ユニットに対応しました。 Q シリーズ Q00U、Q00UJ Q10UDH、Q10UDEH、Q20UDH、Q20UDEH	LT 1.3.3	
3	Windows® 7 対応	以下のオペレーティングシステムに対応しました。 Windows® 7	LT 2.1	
1	サポートする収集周期を追加	以下の収集周期に対応しました。 10 ミリ秒、20 ミリ秒、2000 ミリ秒、5000 ミリ秒、 10000 ミリ秒、20000 ミリ秒、30000 ミリ秒、60000 ミリ秒	LT 4.1.7	1.6.0.66
2	サポートするデータ型を追加	以下のデータ型に対応しました。 BYTE 型、UBYTE 型、UWORD 型、ULONG 型、DOUBLE 型、 BCD16 型、BCD32 型	LT 4.1.7	
1	Windows Vista®対応	以下のオペレーティングシステムに対応しました。 Windows Vista® Business SP1 以降 Windows Vista® Ultimate SP1 以降	LT 2.1	1.5.1.59
1	Miranda 起動時の蓄積自動実行	Miranda Viewer 起動時に、データの蓄積を自動で開始する機能に対応しました。（予め MirandaEngineer で自動蓄積の設定が必要となります。）	LT 4.1.8	1.4.0.49
1	グラフ表示設定の保存	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドで変更した表示設定（表示するグラフ、表示位置等）を、名前をつけて保存可能とし、次回表示時に表示設定を選択することが可能となりました。	Viewer 2.1.2(2) 2.2.12	1.3.0.47
2	信号値の 16 進数表示／ASCII 文字列表示	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドに表示する凡例（信号一覧画面）、およびカーソルラベルの表示形式を、10 進数/16 進数/ASCII 文字列表示に変更可能としました。	Viewer 2.1.3(3)	
3	印刷データのファイル出力	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドの印刷機能で、印刷内容を画像ファイル(BMP、JPEG、PNG 形式)に保存することが可能となりました。	Viewer 8.1.1	
1	対応 CPU ユニットの追加	以下の CPU ユニットに対応しました。 Q シリーズ Q02PH、Q06PH Q02U、Q03UD、Q04UDH、Q06UDH、Q13UDH、Q26UDH、 Q03UDE、Q04UDEH、Q06UDEH、Q13UDEH、Q26UDEH FX シリーズ FX0(S)、FX0N、FX1、FX1S、FX1N(C)、FX2(C)、 FX2N(C)、FX3U(C)	LT 2.1	1.2.2.26
2	対応接続形態の追加	以下の接続形態に対応しました。 CPU ユニット Ethernet 通信 CPU ユニット内蔵 Ethernet ポート接続 CC-Link IE 通信 QJ71GP21-SX ユニット経由接続	LT 1.3.3	

LT : Miranda-LT 取扱説明書
Viewer : Miranda 取扱説明書
(MirandaViewer 画面操作詳細編)

Miranda-LT 機能追加内容一覧（４／４）

No.	機能追加内容	説　明	取扱説明書該当項	対応バージョン
1	対応 CPU ユニットの追加	以下の CPU ユニットに対応しました。 Q シリーズ Q12PRH、Q25PRH	LT 2.1	1.2.1.25
1	凡例（信号一覧画面）の非表示	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドの凡例（信号一覧画面）の表示／非表示が切り替え可能となりました。	Viewer 2.1.2 3.1.1	1.2.0.19
2	グラフのハイライト表示	選択したグラフの背景色を変更し、選択されているグラフの表示レンジが視覚的に判断可能となりました。	Viewer 2.1.2 3.1.1	
3	信号名称の表示	グラフ内に信号名称が表示可能となりました。	Viewer 2.1.3(1)	
4	カーソルラベルの表示	グラフ内のカーソル位置に現在値のラベルが表示可能となりました。	Viewer 2.1.3(2)	
5	表示位置・表示スケール調整	ツールバーの『上下移動ボタン』、『拡大・縮小ボタン』をクリック、またはグラフエリアの信号を直接ドラッグすることで、グラフの表示位置、表示スケールを変更することが可能となりました。	Viewer 2.2.3 2.2.5	
6	グラフ整列	ツールバーの『グラフ整列ボタン』をクリックすることで、グラフに表示している信号を並べて表示することが可能となりました。	Viewer 2.2.6	
7	グラフ重ね合わせ	ツールバーの『グラフ重ね合わせボタン』をクリックすることで、グラフエリアに表示している信号を重ねて表示することが可能となりました。	Viewer 2.2.7	
8	表示上下限値自動調整	グラフエリアに表示されている期間で表示上限値、表示下限値を自動調整することが可能となりました。	Viewer 2.2.8 2.2.9	
9	表示上下限値手動調整	表示上下限値をグラフ内で変更することが可能となりました。	Viewer 2.2.10	
10	アラーム発生時のトレンドグラフ自動表示	アラーム情報をダブルクリックすることで、該当アラームの発生時刻を含むヒストリカルトレンドを自動表示することが可能となりました。	Viewer 4.3	
11	印刷の色（カラー／白黒）選択	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドの印刷機能で、印刷の色（カラー／白黒）を選択することが可能となりました。	Viewer 8.1.1	
1	デバイス一括置換	登録済みの信号定義からデバイスアドレスを一括置換することが可能となりました。	LT 4.1.7(3)	1.1.6.15
1	Windows XP 英語版対応	Windows XP 英語版に対応しました。	LT 2.1	1.1.2.5
1	蓄積条件の追加	蓄積条件にエッジトリガ（デバイスの立上り、立下り）を指定可能となりました。また、エッジトリガを選択した場合、蓄積終了条件が指定可能となりました。	LT 4.1.8 6.1.1	1.1.1.2

Miranda-LT 改善内容一覧 （1／8）

No.	改善内容	説　明	対 応 バージョン
1	GX Works2 のデバイスコメントインポートできない問題を修正	英語 OS の環境で GX Works2 プロジェクトファイルからのデバイスコメントインポートができない問題を修正しました。	2.6.1.233
2	プロジェクトファイルの表示速度を改善	信号定義数が多いプロジェクトファイルを開く際の処理速度を改善しました。	
1	MirandaAnalyzer の別ツール化	MirandaAnalyzer を Miranda の製品本体から切り離し、別ツールの扱いに変更しました。	2.6.0.221
1	CSV 自動出力のロット番号・品種で不正な値が出力される問題を修正	ロット番号・品種に STRING 型以外のデータ型の信号を割り当てた場合、CSV 自動出力のロット番号・品種の箇所に不正な値が出力される問題を修正しました。	2.5.0.205
2	CSV 一括出力の代表ロット番号・品種で不正な値が出力される問題を修正	CSV ファイルの代表ロット番号・品種に、代表（CSV ファイル内の先頭データ）以外のロット番号・品種が出力される問題を修正しました。	
3	表示信号選択画面の信号名称表示幅を拡大	表示信号選択画面の信号名称列の列幅を、32 文字確認可能な幅に拡大しました。	
4	ヒストリカルトレンド表示の速度改善	Miranda-HR クライアントにおけるヒストリカルトレンド表示速度改善に対応しました。	
5	[ヒストリカルトレンド 表示期間指定] [トレンド分析グラフ] 信号値・カーソル時刻の"---"表示改善	カーソル位置の時刻に該当する収集データが存在しない場合、信号値やカーソル時刻に"---"が表示される仕様を改善しました。 （INI ファイルで、"---"の表示切替を可能としました）	
6	ヒストリカルトレンド表示での欠落表示改善	収集データに欠落があった場合に、トレンドグラフに縦棒が表示される仕様を改善しました。 （INI ファイルで、縦棒の表示切替を可能としました）	
7	X 軸の右端の時刻が表示されない問題を修正	ヒストリカルトレンドで 2%表示した際、X 軸の右端の時刻が表示されない問題を修正しました。	
8	デバイスコメントがインポートされない条件を取扱説明書に追記	GX Developer プロジェクトからデバイスコメントがインポートされない条件を取扱説明書に追記しました。	
9	ヒストリカルデータ管理画面が表示されない場合がある問題を修正	ロット番号・品種を指定した検索後、ヒストリカルデータ管理画面が表示されない場合がある問題を修正しました。	
10	X 軸の右端ラベルが切れる問題を修正	トレンドグラフを表示した際、X 軸の右端ラベルが途中で切れて見えない問題を修正しました。	
1	STRING 型の半角カナ対応	STRING 型の ASCII データに、シフト JIS1 バイトの半角カナが含まれている場合に、トレンドグラフに半角カナ文字を表示する機能を追加しました。	2.4.1.200
2	インストールに失敗する場合がある問題を修正	インストーラ実行中に「EZSocket(MELSEC)が見つかりませんでした」のメッセージが表示され、インストールが正常終了しない場合がある問題を修正しました。	
1	[Analyzer] 信号出力順序が不正となる問題の修正	標準分析画面で「時系列表示」を選択後、蓄積 ID が同一の信号を複数個グラフ表示した際、「グラフ化信号一覧」の表示順序とは異なる順序でグラフやデータシートに出力されてしまう問題を修正しました。	2.4.0.166 2.4.0.166
2	[Analyzer] 上書き保存が可能な問題の修正	Analyzer.xls に読取専用属性が設定されておらず上書き保存が可能である問題を修正しました。	
3	グループ名変更により蓄積データが検索でヒットしない問題の修正	グループ名を変更した場合、グループ名変更前の蓄積データが検索でヒットしなくなる場合がある問題を修正しました。	

Miranda-LT 改善内容一覧 （２／８）

No.	改善内容	説　　明	対 応 バージョン
4	「同じキーのエントリーが既に存在します。」が表示される問題の修正	グラフプロパティの設定変更時に、「同じキーのエントリーが既に存在します。」のメッセージが表示され、正常に設定変更できない問題を修正しました。	
5	[Analyzer] 標準分析画面で他のグループも検索でヒットする問題の修正	標準分析画面でグループを指定して検索した際、他のグループも検索でヒットする場合がある問題を修正しました。	
6	MirandaEngineer 起動時に異常終了する問題の修正	MirandaEngineer を起動した際に MirandaEngineer が異常終了する場合がある問題を修正しました。	
7	MirandaEngineer の「蓄積データ保存先」の入力チェック改善	「蓄積データ保存先」に、他 PC の共有フォルダを指定できるよう改善しました。(これまでは共有フォルダの１階層以上深い階層でないと指定できなかった)	
8	蓄積データの日時検索やヒストリカルトレンドの連結で不正な結果となる問題を修正	データ収集中に、パソコン強制終了/ブルースクリーン発生や、MirandaCore 異常終了/強制終了が発生した場合に、蓄積データの日時検索やヒストリカルトレンドの連結が不正な結果となる問題を修正しました。	
9	HDD 残量チェックの初期設定値を変更	HDD 残量チェックの初期設定値を 500MB から 5000MB に変更しました。	
10	蓄積データ自動削除有効/無効の初期設定を変更	蓄積データ自動削除の有効/無効の初期設定を無効から有効に変更しました。	
1	システムエラーが表示される問題への対処	MirandaAnalyzer の起動時に「システムエラーです」と表示される問題への対処方法を、取扱説明書に追記しました。	2.3.0.154 2.3.0.154
2	グループ名が文字化けする問題の修正	MirandaAnalyzer の検索条件のプルダウンにおいて、プロジェクト名、グループ名に含まれる全角文字が文字化けする問題を修正しました。	
3	文字列型割付け時のメッセージ表示不良の修正	エッジトリガの終了条件に対し、データ型が STRING の信号を選択した際に、不正なメッセージが表示される問題を修正しました。	
4	棒グラフのクリックで横スクロールする問題の修正	棒グラフのクリックにより、棒グラフの横スクロールバーが左方向にスクロールする問題を修正しました。	
1	アンインストールにより他の MCR 製品が使用不可となる問題の修正	以下の順序でインストールおよびアンインストールを行った場合に、インストール済みの MCR 製品（EZLogic、EZDoctor、Miranda-LV）が使用不可となる問題を修正しました。 ①Miranda-LT をインストール ②MCR 製品（下記製品の何れか）をインストール EZLogic、EZDoctor、Miranda-LV ③Miranda-LT をアンインストール	2.2.1.137
1	空き容量が少ないと表示される問題の修正	蓄積データ保存先のディスク容量が 2TB を超過している場合に、「空き容量が少なくなってきています」と表示される問題を修正しました。	2.2.1.137
1	MirandaUserDefine.ini のサンプル	Miranda のバージョンアップ後、全てのユーザカスタマイズ項目が参照できるよう、MirandaUserDefine.ini ファイルのサンプル（MirandaUserDefine_sample.ini）を追加しました。	2.2.0.121
1	収集データの連結でエラーが発生する問題の修正	日付の異なる収集データを連結した場合に、エラーが発生する問題を修正しました。	2.2.0.117 2.1.0.99
2	MelsecDriver が起動しない問題の修正	OS が Windows7、且つドメインに参入しているパソコンで Miranda を起動した場合、MelsecDriver が起動しない問題を修正しました。	
3	エッジトリガが発生しない場合がある問題の修正	エッジトリガの開始・終了条件に BIT 以外の信号を設定し、その信号がマイナスの値をとる場合、開始・終了条件が正しく判定されない場合がある問題を修正しました。	
4	アラームの復帰時刻が上書きされる場合がある問題の修正	アラームのタイムアウト監視で、タイムアウト時間になる前に「まで」の条件を満たした場合、異なるアラームの復帰時刻が上書きされる場合がある問題を修正しました。	

Miranda-LT 改善内容一覧 （３／８）

No.	改善内容	説　　明	対 応 バージョン
5	タイムアウトが発生しない場合でも蓄積される問題の修正	蓄積条件のレベルトリガにタイムアウト監視のアラームを指定した場合に、タイムアウトが発生しない場合でも蓄積される問題を修正しました。	
6	ガントチャートに未復帰のアラームが多数表示される問題の修正	以下の条件に一致するアラームをガントチャートに表示しないよう修正しました。 ・検出時刻が、ガントチャートの対象期間（開始時間）より古い ・復帰時刻がない	
1	表示設定適用時の表示上下限値を修正	表示設定を適用してグラフを開いた場合、グラフプロパティに表示される表示上下限値がデフォルトとなる問題を修正しました。	2.0.0.85 2.0.0.85
2	事前蓄積・事後蓄積に指定可能な時間を拡張	事前蓄積・事後蓄積に設定可能な秒数を、20 秒以上に拡張しました。 設定可能な秒数は、グループで設定した収集周期により異なります。	
3	アラーム画面へのカーソルジャンプボタンの追加	アラーム画面のツールバーに、アラーム検出時刻からヒストリカルトレンドを表示するボタン（カーソルジャンプボタン）を追加しました。	
4	MirandaEngineer 内のアイコン表示を修正	ツリー内の「ヒストリカルデータ管理」「プロジェクト」のアイコンがフォルダアイコンとなっている問題を修正しました。	
1	信号定義欄へ表示する内容が選択中信号と異なる場合がある問題の修正	信号定義一覧でデバイス記号によるフィルタを行った場合、選択した信号と異なる信号の内容が信号定義欄に表示される問題を修正しました。	1.7.0.76 1.7.0.76
2	比較式が"<=”の際に正しく蓄積されない、またはアラームが発生しない場合がある問題の修正	蓄積条件（または検出・復帰条件）の比較式に"<=”を指定した際、信号値と比較値が等しいにも関わらず蓄積されない（アラーム検出・復帰しない）問題を修正しました。	
3	一覧表のソート処理を追加	MirandaEngineer 内の信号定義、アラーム定義、グループ定義画面の一覧表で列名称のクリックによる各列のソートを可能としました。	
4	グループ削除後の表示処理を修正	MirandaEngineer でグループを削除後、画面右側のグループ定義画面に何も表示されなくなる（グレー表示となる）問題を修正しました。	
5	印刷設定表示時の前回値が一部不正となる問題を修正	印刷設定を起動した際、余白(下)の前回値に余白(上)の前回値が設定される問題を修正しました。	
6	デバイスアドレスの印刷	MirandaViewer の印刷で、信号印刷情報にデバイスアドレスを印字するように改善しました。	
7	プロジェクトファイル変更チェック漏れを修正	MirandaEngineer でプロジェクト設定内容を変更後、上書き保存せずに「プロジェクトファイルを開く」メニューを実行すると変更内容が保存されない問題を修正しました。	
8	単位未設定時の単位表示を改善	単位が未設定の信号をトレンドグラフ表示した際、グラフエリア内の信号名称に表示される単位表示用の括弧”[]”を表示しないよう改善しました。	
1	ヒストリカルトレンドが表示できない問題の修正	ハードディスクの空き容量不足により蓄積が停止した後、空き容量を増加しても、新たに蓄積したデータがヒストリカルトレンドで表示できない場合がある問題を修正しました。	1.6.0.66 1.6.0.66
2	カーソルジャンプに失敗する問題を修正	カーソルジャンプ結果が特定位置の場合にグラフ描画ができなくなる問題を修正しました。	
3	OS のバージョンチェックを追加	インストール時に、サポート外の OS （WindowsXP SP3、Windows VistaSP1 以外の OS）へインストールできる問題を修正しました。	
4	スナップショットの保存先選択	スナップショット実行時に、画像ファイルの保存先を選択できるよう改善しました。	
5	アラームからのヒストリカル表示に失敗する問題を修正	リアルタイムに表示されたアラームをダブルクリックした際に、ヒストリカルトレンド画面が表示出来ない問題を修正しました。	
6	信号定義クリア操作でデータタイプが選択不可となる問題を修正	信号定義画面で BIT 型の信号を選択中にクリアボタンを押下した場合、データタイプが選択不可となる問題を修正しました。	

Miranda-LT 改善内容一覧 （４／８）

No.	改善内容	説　　明	対 応 バージョン
1	蓄積ファイル作成不良の修正	Miranda Viewer でヒストリカルデータの検索を実行中に、収集データの蓄積条件が成立した場合、蓄積ファイルの作成に失敗することがある問題を修正しました。	1.5.1.59 1.5.1.59
2	表示信号一覧非表示の表示設定で選択グラフが変更できない問題の修正	表示信号一覧を非表示にした状態でトレンドウィンドウを閉じ、再度同じグループを開いた場合、グラフをクリックしてもグラフの選択が切替できない問題を修正しました。	
3	FAT ファイルシステムへの蓄積で蓄積が停止する問題への対応	蓄積データ保存先が FAT ファイルシステムの場合、長期間データを蓄積すると蓄積ができなくなる問題を修正しました。 ただしFAT ファイルシステムを使用する場合は一部制約があります。 制約について取扱説明書11.2 章に追記しました。	
4	収集・蓄積制御でエラーが発生する問題の修正	収集・蓄積制御画面で、複数グループに対して収集開始を実行した後に画面を閉じると、エラーメッセージが表示されることがある問題を修正しました。	
5	同一日時の蓄積データの検索が出来ない問題の修正	ヒストリカルデータ検索で、開始･終了日時を同じに設定した場合に、設定した1時間分に含まれるデータを検索するように修正しました。	
6	蓄積中データの表示更新に対応	現在蓄積中のデータをヒストリカルトレンドで表示した場合、次を連結ボタン(>>)で表示更新できるようにしました。	
7	ファイル連結できない場合がある問題の修正	ヒストリカルトレンドでデータを連結して表示する際に、連結できない場合がある問題を修正しました。	
8	接続設定画面が表示されない問題を修正	Miranda Engineer の接続設定画面が表示されない場合がある問題を修正しました。	
1	ドライブ直下への蓄積ができない問題の修正	蓄積データ保存先をドライブ直下に設定した場合、保存した蓄積データが検索できない問題を修正しました。	1.5.0.57 1.5.0.57
2	上下限値編集用テキストボックスの文字列が異なる問題の修正	グラフをダブルクリックすると表示されるテキストボックスの書式(または桁数)が、グラフのY軸に表示されているものと異なる問題を修正しました。	
3	収集データ欠落時のグラフ表示改善	大量点数のデータ収集、通信の高負荷、パソコンの CPU 負荷などによりデータの欠落が発生した場合に、トレンドグラフ上に欠落を表示するよう改善しました。	
4	「ファイルを開く」･「名前をつけて保存」後のフォルダ操作が不可となる問題の修正	Miranda Viewer、またはMiranda Engineer で「ファイルを開く」･「名前をつけて保存」を行った後、指定したファイルを持つフォルダの移動・削除・名前の変更、リムーバブルドライブの取り外しができなくなる問題を修正しました。	
5	出力したCSV ファイルに制御文字が含まれる問題の修正	CSV ファイル出力時、ロット番号、品種に設定したデバイス値に制御文字が含まれる場合、制御文字を「.」に変更するよう修正しました。	
6	蓄積データ保存先に全角文字を含むパスを設定できない問題の修正	Miranda Engineer の蓄積データ保存先を設定するテキストボックスにキーボードから直接入力する場合、全角文字を入力することができない問題を修正しました。	
7	蓄積データ保存先に禁則文字を設定できる問題の修正	Miranda Engineer の蓄積データ保存先を設定するテキストボックスにキーボードから直接入力する場合、ファイル名の禁則文字（¥ / : ? “ < > |）を入力することができる問題を修正しました。	
8	重複するポート番号が設定可能な問題の修正	MirandaEngineer において同じポート番号を複数個所に設定した際、重複チェックを行うよう修正しました。	
9	アラーム条件値, 蓄積条件値が不正な値となる問題の修正	アラーム条件値, 蓄積条件値に「―」,「1.1.1」という不正なフォーマットの数値を入力した場合、保存時にエラーメッセージを表示するように修正しました。	
10	FX シリーズの 8 進数デバイスに 16 進数デバイスの範囲が設定可能な問題の修正	FX シリーズの 8 進数デバイスに 16 進数デバイスの範囲（0～F）まで設定可能となっている問題を修正しました。	

Miranda-LT 改善内容一覧 （５／８）

No.	改善内容	説　　明	対 応 バージョン
11	色反転でのカラー印刷が不一致となる問題の修正	マルチカーソル表示中に色反転でカラー印刷した場合、フッタに表示される赤･青の情報とグラフ上のカーソル色が不一致となる問題を修正しました。	
12	「ページ設定」ボタンの変更	Miranda Viewer の印刷設定画面内の「ページ設定」ボタンを「プリンタ設定」ボタンに変更しました。	
13	収集データの蓄積で欠落が発生する問題の修正	データ蓄積中、Windows のデフラグ機能が自動実行された場合に、データの蓄積で欠落が発生する場合がある問題を修正しました。(インストール時にデフラグ機能の自動実行を無効にするよう変更しました。)	
14	取扱説明書に記載のないエラーメッセージが表示される問題の修正	取扱説明書のエラーコード一覧に記載のないエラーメッセージが表示される問題を修正しました。	
15	不正な IP アドレスを設定した場合にエラーが発生する問題の修正	Ethernet ユニット経由接続で、MELSEC 側 Ethernet ユニットの IP アドレスに「0.0.0.0」を指定した場合にアプリケーションエラーが発生する問題を修正しました。	
16	英語版の印刷で文字化けする問題の修正	英語 OS でマルチカーソル表示中に印刷を行うと、印刷結果のマルチカーソル情報エリアが文字化けする問題を修正しました。	
1	イーサネット接続できない問題の修正	Ethernet インタフェースユニットを介して CPU ユニットと接続する場合、接続できない場合がある問題を修正しました。	1.4.0.56
1	メモリ使用量の改善	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドの表示と終了を繰り返し実行すると、パソコンの空きメモリが不足しアプリケーションエラーが発生する問題を修正しました。	1.4.0.56 1.4.0.49
2	カーソルラベルの初期表示方法の改善	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンド表示時に、カーソルラベルをデフォルトで表示するか否かが選択できるように改善しました。	
3	文字化けしたデバイスコメントがインポートされた場合の対応	GX Developer プロジェクトファイルのデバイスコメントから信号定義をインポートする際、デバイスコメントに文字化けしたデータが含まれていると Miranda Viewer が起動できなくなる問題を修正しました。	
4	信号定義画面が表示されない問題の修正	Miranda Engineer の「収集先(MELSEC)」の設定画面で接続先 CPU タイプに「A4U」を選択した場合、Miranda Engineer のプロジェクトツリービューから「信号定義」を選択しても信号定義画面が表示できない問題を修正しました。	
5	デバイスコメントがインポートできない問題の修正	GX Developer プロジェクトの CPU タイプが「FX1N(C)」の場合、GX Developer プロジェクトのデバイスコメントファイルから信号定義のインポートができない問題を修正しました。	
1	ヒストリカルトレンドが複数表示される問題の修正	アラーム一覧画面でアラーム情報をクリックしたとき、該当するアラームのヒストリカルトレンドのウィンドウが複数表示されることがある問題を修正しました。	1.3.0.47 1.3.0.47
2	グラフ表示が前回終了時の状態にならない問題の修正	リアルタイムトレンド、またはヒストリカルトレンドですべての信号のグラフを非表示に変更してウィンドウを終了した場合、表示設定が保存されずに次回起動時にすべての信号のグラフが表示される問題を修正しました。	
3	ヒストリカルトレンド検索条件の変更	ロット番号、品種を指定してヒストリカルトレンドを検索する場合、検索文字列を完全一致ではなく部分一致で検索するように改善しました。	
4	インポートしたデバイスコメントが正しく並び替えされない問題の修正	GX Developer プロジェクトファイルのデバイスコメントから信号定義をインポートする際、16 進数で表現されるデバイスが正しく並び替えされない問題を修正しました。	
5	信号定義の登録数が多い場合に Miranda Viewer の起動に失敗する問題の修正	Miranda Engineer で登録している信号定義が多量 (概ね 5000 点以上の信号定義) の場合、Miranda Viewer の起動に失敗しエラー終了することがある問題を修正しました。	

Miranda-LT 改善内容一覧 （６／８）

No.	改善内容	説　　明	対 応 バージョン
6	マルチカーソル時の差分情報画面の表示位置を変更	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドで、マルチカーソル時に表示される２線間の差分情報画面をトレンドグラフウィンドウ内に表示するように改善しました。	
7	マルチカーソルの水平線の表示の改善	マルチカーソル時に表示される水平線を、BIT 信号を選択した場合は表示しないように改善しました。(水平線と重なり BIT 信号の ON／OFF が判断しにくいため。)	
8	グラフ罫線の表示色の改善	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドのグラフ罫線（グラフ目盛り線）の表示色を変更し、BIT 信号のグラフ線と区別しやすいように改善しました。	
1	デバイスコメントインポート時の並び替え対応	GX Developer プロジェクトファイルのデバイスコメントから信号定義のインポートを行う際、デバイスアドレスを昇順で並び替えてインポートするように改善しました。	1.2.6.38 1.2.6.38
2	ヒストリカルデータ検索に失敗する問題の修正	Windows の時刻表示設定をデフォルト表示以外に変更した場合に、Miranda Analyzer のヒストリカルデータの検索に失敗する問題を修正しました。	
1	誤った信号が削除される問題の修正	Miranda Engineer の信号定義画面で、デバイス記号を指定してフィルタ表示している状態で信号定義の削除を行うと、誤った信号が削除される問題を修正しました。	1.2.5.37 1.2.5.37
2	コメントインポート時に重複した信号をスキップする改善	信号定義のインポートを複数回実行した場合、既に登録済みの重複した信号定義はインポートしないように改善しました。	
3	プロジェクトファイル読み込み失敗の問題の修正	プロジェクトファイル名に“[#”の文字列を含む場合、Miranda Engineer でプロジェクトファイルの読み込みに失敗し、アプリケーションが起動できなくなる問題を修正しました。	
4	凡例（信号一覧画面）でグラフ表示の変更ができない問題の修正	リアルタイムトレンド、またはヒストリカルトレンドでグラフ線が未選択の状態で、凡例（信号一覧画面）で１行目に表示されている信号のグラフ表示の変更ができない問題を修正しました。	
5	信号定義のインポートができない問題の修正	TAB 区切りのテキストファイルから信号定義のインポートを行う際、１行目にコメントが含まれていないとインポートが実行できない問題を修正しました。	
1	Miranda Viewer の起動に失敗する問題の修正	Miranda Engineer の信号定義で信号名称に空白文字（スペースのみ）を設定した場合、Miranda Viewer の起動に失敗する問題を修正しました。	1.2.4.30 1.2.4.30
2	ヒストリカルトレンドの検索が実行できなくなる問題の修正	常時蓄積の設定で収集・蓄積を実行している状態で MELSEC との通信エラーが発生した場合、蓄積が実行されず、またヒストリカルトレンドの検索が実行できなくなる問題を修正しました。	
3	バージョン情報ダイアログが表示される問題の修正	Miranda Engineer の信号定義でデバイスの一括置換を実行した際に、バージョン情報のダイアログが表示される問題を修正しました。	
4	積算タイマのデバイスコメントがインポートできない問題の修正	GX Developer プロジェクトファイルのデバイスコメントから信号定義をインポートする際、積算タイマのデバイスコメントがインポートできない問題を修正しました。	
5	タイマデバイスのコメントがインポートできない問題の修正	GX Developer プロジェクトの CPU タイプが A シリーズの CPU の場合、GX Developer プロジェクトのコメントファイルからタイマデバイスのコメントがインポートできない問題を修正しました。	
6	グラフ作成範囲の変更が行えない問題の修正	Miranda Analyzer の信号一覧画面で、グラフ作成範囲の変更が行えない問題を修正しました。	
1	収集・蓄積制御画面の表示が更新されない問題の修正	Miranda Viewer の収集 蓄積制御画面で、蓄積の開始／停止を実行しても収集 蓄積制御画面の表示内容が更新されない問題を修正しました。	1.2.2.26
1	グラフ表示位置の表示順の改善	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドで初期表示のグラフ表示位置が、表示信号一覧の順に表示されるよう改善しました。	1.2.2.26

Miranda-LT 改善内容一覧 （７／８）

No.	改善内容	説　明	対 応 バージョン
1	16 信号分しかグラフが表示されない問題の修正	Miranda Engineer で既にグループに信号が割り当てられている状態からグループに割り当てる信号を追加して 32 信号以上に設定した場合、リアルタイムトレンドで 16 信号分しかグラフが表示されない問題を修正しました。	1.2.1.25 1.2.1.24
2	グラフが水平線となる問題の修正	Miranda Engineer で既にグループに信号が割り当てられている状態からグループに割り当てる信号を追加した場合、追加した信号のグラフの高さが 0 となりグラフが水平線となる問題を修正しました。	
1	タイマデバイス、積算タイマデバイス、カウンタのコメントがインポートできない問題の修正	GX Developer プロジェクトファイルのデバイスコメントから信号定義をインポートする際、タイマ、積算タイマ、カウンタのデバイスコメントがインポートできない問題を修正しました。	1.2.0.19
1	登録済み信号の一括削除の改善	Miranda Engineer の信号定義画面で、登録済みの信号を複数選択して一括で削除できるよう改善しました。また右クリックメニューの『削除』メニューから削除を実行できるよう改善しました。	1.2.0.19
1	複数履歴のグラフ連結の問題の修正	ヒストリカルトレンドで次のグラフ表示ボタン「>>」を連続して実行した後、前のグラフ表示ボタン「<<」を実行し再度次のグラフ表示ボタン「>>」をクリックすると、次のグラフが正しく表示されない問題を修正しました。	1.1.6.15
1	グラフが正しく印刷されない問題の修正	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドの表示信号を先頭１点、最終１点のみにした状態でグラフの印刷を行うとグラフが正しく印刷されない問題を修正しました。	1.1.5.10 1.1.4.7
2	グラフ作成できない問題の修正	Excel2007 がインストールされている環境で Miranda Analyzer のグラフ生成を実行した場合、グラフ生成時にエラーが発生しグラフが生成できない問題を修正しました。	
3	時刻指定のジャンプが実行できない問題の修正	バックアップデータからヒストリカルトレンドを表示している場合、時刻指定のジャンプ機能が実行できない問題を修正しました。	
1	ヒストリカルトレンドが表示できない問題の修正	Miranda-LT をインストールしたときにデフォルトで生成されているサンプルプロジェクトファイルを使用してデータの収集と蓄積を行った場合、ヒストリカルトレンドが表示できない問題を修正しました。	1.1.3.6 1.1.3.6
2	マルチカーソルの赤色カーソルが表示できない問題の修正	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドの表示信号を先頭１点、最終１点のみにした状態でマルチカーソルを表示すると、赤色カーソルが表示できない問題を修正しました。	
1	凡例に表示される値と実際のグラフ線が異なる値となる問題の修正	リアルタイムトレンド、ヒストリカルトレンドに表示する信号を変更すると、凡例に表示される値と実際のグラフ線が異なる値となる問題を修正しました。	1.1.1.2 1.1.1.2
2	データ収集と蓄積が停止してしまう問題の修正	マルチ CPU 構成（デュアルコア CPU、ハイパースレッディング対応 CPU 等）のパソコンで Miranda を実行した場合、データ収集と蓄積が停止してしまう問題を修正しました。	
3	データが連続していない区間の表示方法の改善	ヒストリカルトレンドでデータが連続していない区間を波線で表示するように改善しました。	
4	デバイスコメントがインポートできない問題の修正	GX Developer プロジェクトの CPU タイプが A シリーズの CPU の場合、GX Developer プロジェクトのコメントファイルからコメントがインポートできない問題を修正しました。	
1	Miranda Analyzer でグラフ作成できない問題の修正	Miranda Analyzer でグラフ生成する際、他の Excel シートが表示されているとグラフ生成が正しく行えない問題を修正しました。	1.1.0.1 1.1.0.1
2	Miranda Analyzer でグラフ作成できない問題の修正	Miranda Analyzer で複数履歴から信号を選択し時系列表示のグラフを生成すると、グラフ生成が正しく行えない問題を修正しました。	
3	メモリ使用量の改善	Miranda Viewer のメモリ使用量を少なくするよう改善しました。	
4	ヒストリカルトレンド表示の改善	現在蓄積が実行されているデータもヒストリカルトレンドで表示できるよう改善しました。	

Miranda-LT 改善内容一覧 （８／８）

No.	改善内容	説　　明	対 応 バージョン
5	マルチカーソルの赤カーソルが移動できなくなる問題の修正	マルチカーソル表示時に青カーソルを赤カーソルより右側へ移動させると、それ以降赤カーソルが移動できなくなる問題を修正しました。	
6	ヒストリカルトレンドの検索条件が表示されない問題の修正	FLOAT 型の信号をロット番号、品種に設定している場合、ヒストリカルトレンドのロット番号、品種の検索を行っても、検索結果が表示されない問題を修正しました。	
7	ヒストリカルトレンドの検索条件が表示されない問題の修正	文字数が奇数の STRING 型信号をロット番号、品種に指定するとヒストリカルトレンドの検索ができない問題を修正しました。	

以上